

⑫ 公開特許公報(A)

平1-139378

⑤ Int. Cl.⁴

B 65 D 83/08
B 65 F 1/14

識別記号

庁内整理番号

E-7214-3E
C-7214-3E

④ 公開 平成1年(1989)5月31日

審査請求 未請求 発明の数 2 (全4頁)

⑭ 発明の名称 ティッシュペーパー用屑入れ箱及び圧縮ティッシュペーパー製造方法

⑮ 特 願 昭62-288893

⑯ 出 願 昭62(1987)11月16日

⑰ 発 明 者 新 井 健 二 埼玉県狭山市富士見1丁目17番8号

⑱ 出 願 人 新 井 健 二 埼玉県狭山市富士見1丁目17番8号

明 細 書

1. 発明の名称

ティッシュペーパー用屑入れ箱、及び圧縮ティッシュペーパー製造方法

2. 特許請求の範囲

1. 外側寸法は、従来のティッシュペーパー箱と同様で、箱(A)の丈(厚さ)を、40%~55%にし、その上面の面を、自在な巾の額測状(2)に形成した屑紙取り出し口(3)を設ける。

箱(A)の正面、長手方向の間に自在な巾の開閉片(5)(5)を設け、その両側を縦状に切り込み(4)を入れる。この切り込み(4)の間の上下の開閉片(5)(5)の先端を、箱(A)の内側に折り曲げた屑入れ口(6)を設けとなる、ティッシュペーパー用屑入れ箱

2. 従来、使われているティッシュペーパー箱内のティッシュペーパーを箱に収納する前の状態のもの、80%~100%の丈(厚さ)に二つ折りにして交互に折り重ねた状態のティッシュペーパーを、圧縮機(プレス)等で35%~50%の丈(厚さ)に圧縮してなる圧縮ティッシュペーパー製造方法

3. 発明の詳細な説明

(産業上利用の分野)

この発明は、屑入れ箱の上にティッシュペーパーを圧縮加工した収納箱を重ね合わせたもので、屑籠を置く場所がないような狭い室、自動車内等でも、使ったティッシュペーパーの屑紙をこの屑入れ箱に棄てられるようにしたものである。

(従来の技術)

従来使われている箱入りのティッシュペーパーは、長方形をした紙製の箱に収納されている。この長方形をした箱の下に屑入れ用の箱を重ね合わせたものは、第6図に示すように長方形をしたティッシュペーパー箱の下に、ティッシュペーパー箱とやや同じ位の大きさの屑入れ用の箱を組み合わせによるものであった。

この屑入れ箱を使って、ティッシュペーパーの屑紙を棄てるのには次のようにしていた。即ちティッシュペーパー箱が入るやや大きめの屑入れ箱の上部の内側に、ティッシュペーパー箱の外側を約 $\frac{1}{2}$ 位嵌め込み合わせる、そして組み合わせた上部のテ

ィシュペーパーを使う場合には、従来と同じようにティシュペーパー箱の上面より取り出し使用する。使用したティシュペーパーの屑紙は、ティシュペーパー箱の長手方向の下部の中間にある屑入れ箱の屑入れ口より屑箱内に投入するものである。そしてこの屑入れ箱に入れた屑紙を取り出す場合には屑入れ箱の上部に嵌め込んだ状態のティシュペーパー箱を上を持ち上げて、屑入れ箱内の屑紙を取り出すものである。

以上説明したように、このティシュペーパー用の屑入れ箱は、ティシュペーパー箱と組み合わせると、ティシュペーパー箱の丈(厚さ)の二倍になる。そのため狭い所に置くのには、あまり適当ではない。又、この下部にある屑入れ箱よりやや重いティシュペーパー箱が上部にあるため、箱の重心が上部にあるため箱が倒れやすい欠点がある。

この発明は、以上のような問題点を解消させ、屑入れ箱にティシュペーパー箱を組み合わせることができるようにしたティシュペーパー用の屑入れ箱を提供することを目的とする。

-3-

従来、使われている長方形の紙製の箱に、二つ折りにして交互に折り重ねた状態で収納してある、ティシュペーパーを、収納箱に収納する前の状態のものは、ティシュペーパーの紙質によって紙の厚さが異なるが、この折り重ねた状態のティシュペーパーの丈(厚さ)は、約80%~100%位の丈(厚さ)である。この圧縮ティシュペーパーは、二つ折りに交互に折り重ねた状態で収納箱に収納する前の状態のものを、圧縮機(プレス)等で、約35%~50%の丈(厚さ)に圧縮するものである。

この圧縮限界は、35%でこの限界を超えると、ティシュペーパーは、密着して使えなくなる。

この圧縮ティシュペーパー製造方法は、以上のようなものである。

次に上記圧縮ティシュペーパーの収納箱(B)について説明する。

この圧縮ティシュペーパーを収納する収納箱(B)は、次のような構成をしている。

圧縮ティシュペーパー収納箱(B)は、外側の寸法は、従来使われているティシュペーパー箱と同じ

(目的)

この目的を達成させるために、この発明は次のような構成をしている。即ち、この発明に係る屑入れ箱(A)は、箱(A)の外側の寸法は、従来使われているティシュペーパー箱と同じであるが、この屑入れ箱(A)の丈(厚さ)は、40%~55%位で従来使われているティシュペーパー箱の $\frac{1}{2}$ の丈(厚さ)である、この半分の丈(厚さ)の長方形をした屑入れ箱(A)の上面部の淵を、自在な巾の額測状(2)のように形成した屑紙取り出し口(3)を設ける。

この屑入れ箱(A)の正面、長手方向の間に、長手方向に沿って箱の上下より折り曲げた開閉片(5)(5)を設け、その両側を縦状に切り込み(4)を入れる、この切り込み(4)の間の上下の開閉片(5)(5)の先端を、箱(A)の内側に折り曲げた開閉片(5)(5)の、屑入れ口(6)を設ける。

この屑入れ箱(A)は、以上のような構成である。

次に、この目的を達成させるために、この発明2の圧縮ティシュペーパー製造方法及びこの圧縮ティシュペーパー(1)の収納箱(B)の説明をする。

-4-

であるが、圧縮ティシュペーパーの場合、35%~50%の丈(厚さ)のため、これを収納するための収納箱(B)も、圧縮ティシュペーパー(1)の丈(厚さ)に似合って、従来使われているティシュペーパー箱の約 $\frac{1}{2}$ の丈(厚さ)で40%~55%位の収納箱である。(尚ティシュペーパー収納箱(B)の丈(厚さ)のみ記載し、縦及び横の寸法は、従来のティシュペーパーの外側の寸法と同じため省略する)

(作用)

この屑入れ箱(A)に、圧縮ティシュペーパー収納(B)を組み合わせるには、次のようにする。

まず、屑入れ箱(A)の上面の額測状(2)の上面に圧縮ティシュペーパー収納箱(B)を重ね合わせる。この収納箱(B)で額測状(2)の、屑紙取り出し口(3)を閉じる。この屑入れ箱(A)の上面に重ね合わせた収納箱(B)を結合するために屑入れ箱(A)の正面、長手方向の屑入れ口(6)の両側で、屑入れ箱(A)と、収納箱(B)との合わせ目を粘着片(7)で結合する。この粘着片(7)は、上下の箱(B)(A)を結合すると同時に、屑入れ箱(A)の屑紙取り出し口(3)の開閉をするため

-5-

-6-

の支点を兼ねる。そして背面の中央の上下の箱(B) (A)の合わせ目にも、肩入れ箱(A)と収納箱(B)を固定するために、粘着片(8)を貼り付ける。

第1実施例

この発明の第1実施例を、第1図を参照しながら説明する。第1実施例では、外側寸法は従来使われているティッシュペーパー収納箱と同じであるが、この肩入れ箱(A)の丈(厚さ)は、従来使われている丈(厚さ)の80%~110%の $\frac{1}{2}$ の丈(厚さ)で40%~55%の丈(厚さ)である。

この肩入れ箱(A)の上面部の額測状(2)は、圧縮ティッシュペーパー収納箱(B)を置くためである。収納箱(A)の正面、長手方向の肩入れ口(6)の下側の開閉片(5)は、上側開閉片(5)よりやや巾が広く、肩入れ箱(A)の肩紙(11)が、肩入れ口(6)の側に出ないためである。

第2実施例

この発明の第2実施例を、第2図を参照しながら説明する。

第2実施例では、従来市販されている400枚(

-7-

第4図実施例では、肩入れ箱(A)の上部に、圧縮ティッシュペーパー収納箱(B)を重ねた状態の第3図の断面図で、肩入れ箱(A)の肩室には、上箱(B)で使ったティッシュペーパーの肩紙(10)を、肩入れ口の上下の開閉片(5)(5)を押し入れた状態を示すものである。

第5図実施例は、第5図及び第3図を参照しながら説明する。第5図実施例では、第3図の正面の肩入れ口(6)の両側にある、上下の箱(B)(A)の合わせ目の粘着片(7)を支点にして、肩入れ箱(A)の上部の収納箱(B)を片開きにして、肩入れ箱(A)の肩紙取り出口(3)を開いた状態を示すものである。

(発明の効果)

この発明に係るティッシュペーパー用、肩入れ箱及び圧縮ティッシュペーパーは、次のような効果がある。

A、この肩入れ箱(A)と、圧縮ティッシュペーパー入り収納箱(B)は、各々従来使われているティッシュペーパー箱の約 $\frac{1}{2}$ 、(半分のため)肩入れ箱(A)と収納箱(B)を結合した状態で、従来使われているティ

200組)入りのティッシュペーパーは、約80%~100%の丈(厚さ)のものを約35%~50%の丈(厚さ)に圧縮した状態のティッシュペーパー(1)を、40%~55%の丈の収納箱(B)に収納した状態のものである。

この発明の第3図実施例を、第4図を参照しながら説明する。第3図実施例では肩入れ箱(A)の上面に、第2図に示した圧縮ティッシュペーパー収納箱(B)を重ね合わせたものである。この上下の箱(B)(A)の合わせ目を、肩入れ口(6)の両側で粘着片(7)で上下の箱(B)(A)を結合すると同時に、肩紙取り出し口(3)も開けるための支点の役目も兼用するものである。

この上下の箱(B)(A)を、肩入れ口(6)の両側の粘着片(7)で結合しただけでは、上下の箱(B)(A)は、片開きの状態である。そこで、第4図で示すように、上下の箱(B)(A)の背面中央の合わせ目に、上下の箱(B)(A)を結合し固定するため粘着片(8)を貼り付ける

第4図実施例は、第4図及び第3図を参照しながら説明する。

-8-

シュペーパー箱と同じ丈(厚さ)になる、そのため狭い室に置いておかさばらない。

B、この肩入れ箱(A)の肩入れ口は、一旦押し入れた肩紙(10)は、肩入れ口の上下より箱(A)の内側に折り曲げられた開閉片(5)(5)のため、外に出ることはない。又この開閉片(5)(5)は肩紙(10)を押し入れる時以外は、いつも閉じている状態なので、外見的にも清潔感がある。

C、この肩入れ箱(A)と、圧縮ティッシュペーパー収納箱(B)は、各々独立しているため、収納箱(B)内のティッシュペーパー(1)が空になった場合には、上下の箱(B)(A)を結合している粘着片(7)(8)をはがせば新たな収納箱(B)を簡単に付け替えることができるので経済的である。

D、この圧縮ティッシュペーパー箱Bは、単独でも使うこともできる。又この従来の $\frac{1}{2}$ の丈(厚さ)の収納箱(B)内のティッシュペーパーの容量(枚数)も従来のティッシュペーパー箱のものと同じである。この収納箱(B)の丈が少ないので、最後までペーパー(1)を取り出し易い。この圧縮加工をしたティシ

-9-

-10-

ュペーパーは、従来のものと使い心地も殆んど変わらない。

(9)…ティッシュペーパー取り出し口

100…肩紙

101…肩室

E、この肩入れ箱及び圧縮ティッシュペーパーは、加工工程が極めて単純なため製造が容易である。

特許出願人 新井健二



4. 図面の簡単な説明

第1図…この発明の実施例を示す斜視図

第2図…この発明の実施例を示す斜視図

第3図…この発明の実施例を示す斜視図

第4図…この発明の第3図、拡大の縦断面図

第5図…この発明の実施例を示す斜視図

第6図…従来例を示す斜視図

(A)…肩入れ箱

(B)…収納箱、(圧縮ティッシュペーパー収納箱)

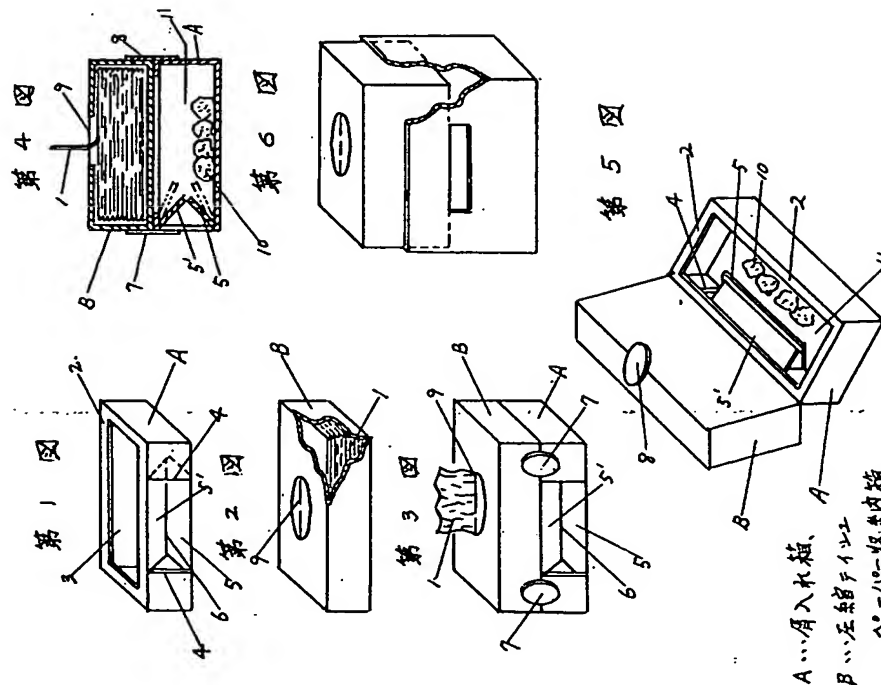
略名

(1)…圧縮ティッシュペーパー (2)…額測状の測

(3)…肩紙、取り出し口 (4)…縦状切り込み

(5)…開閉片(下側) (5)′…上側 (6)…肩入れ口

(7)(8)…粘着片(粘着剤付き紙片及び布片)の略名



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.